やまがた共創塾
「やまがたモデル」を活用した カーボンニュートラル人材育成プログラム

本プログラムは、**温室効果ガスの排出量を自治体が持つ既存情報を用いて可視化することができる**「やまがたモデル※」を活用して自治体におけるカーボンニュートラルを促進する**人材を育成**します。

○プログラム概要

【対象】山形県内及び近隣県の自治体職員（地域おこし協力隊含む）

【参加費】無料

【期間】2024年6月中旬～9月下旬（全４回）

【受講方法】
Online(zoom)及び対面（会場：山形大学小白川キャンパス）
（詳細は受講者確定後、別途連絡します。）

[申込先QRコード]

【申込先】
https://forms.office.com/r/cmrTbBHGGm

申込締切日：2024年6月7日（金）

【問い合わせ先】
国立大学法人山形大学総務部総務課社会共創推進事務室（SDGs担当）
電話番号：023-628-4497
E-Mail：yu-sdgs@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

※「やまがたモデル」は飯豊町と山形大学が構築した地域のカーボンニュートラルを実現するモデルです。詳細はコチラ

〈主催〉山形大学 Yamagata University　〈協力〉飯豊町　やまがた社会共創プラットフォーム

○プログラム詳細
第１回：2024年６月14日（金）14：00-15：00
「やまがたモデル」の概要及び可視化するメリット[６０分]
第２回：2024年７月19日（金）14：00-15：00
可視化の計算方法（飯豊町の事例紹介）[６０分]
第３回： 2024年8月23日（金）13：30-16：30
SDGsカードゲーム[１８０分・対面のみ]
第４回： 2024年9月20日（金）14：00-15：00
まとめ[６０分]

【講師】

小野　優太朗（Ono Yutaro）※写真右

宮城県名取市出身。飯豊町地域おこし協力隊。
YU-SDGs連携研究員（ゼロカーボン推進員）。

東北大学大学院　環境科学研究科卒業。
石油精製会社入社し、運転管理・省エネ・効率化に従事後、IT会社へ転職し、システム開発に従事。
2021年10月から飯豊町地域おこし協力隊として活動。
2022年12月山形大学からYU-SDGs連携研究員の委嘱を受け、ゼロカーボン推進活動を行っている。

後藤　武蔵　（Goto Musashi）※写真左

山形県県飯豊町出身。飯豊町地域おこし協力隊。
YU-SDGs連携研究員（SDGs推進員）。

東北大学大学院　環境科学研究科卒業。
自動車会社へ入社し、生産技術部にて、部品の製造ライン立ち上げに従事。
2021年10月から地元である山形県飯豊町において、地域おこし協力隊として活動。
2022年12月山形大学からYU-SDGs連携研究員の委嘱を受け、SDGs推進活動を行っている。

【アドバイザー】

林田光祐（Hayashida Mitsuhiro）

国立大学法人山形大学　教授（農山村リジェネレーション共創研究センター）。
前副学長（国際交流・SDGs担当）
博士（農学）、専門は 森林科学。

山形大学SDGs タスクフォースのリーダーとして、学内及び地域のSDGs活動を積極的に 支援する各種事業を担い、カーボンニュートラルを実現するための「やまがたモデル」の構築を主導。

適宜、他の山形大学教員もアドバイザーとして参画予定。